



新成長分野

「新しいコミュニティの形」の創造

強み

- 国内エネルギー事業で培った技術力、顧客基盤や信頼関係
- 日本エスコン連結子会社化による不動産事業におけるシナジー効果

リスク

- 競合他社との競争激化

機会

- コミュニティ課題解決に対するニーズの高まり
- ライフサイクルや社会情勢の変化
- 他社との協業による販売、技術等のシナジー効果

取り組み

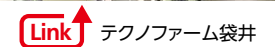
- 医療**：デジタルヘルスサービスなどによる医療支援を通じて、人や地域に根差し、医療の架け橋となる
- 食農**：イノベーションを追求し、持続可能で強靱な食料インフラへ進化させることで、食の恵みを途絶えさせることなく、人々の豊かさを支える
- 不動産・生活関連**：地域の特色を活かし、「自分が自分らしく」「地域が地域らしく」あるためのまちづくりを支える
- E周辺**：エネルギー、交通事業におけるDX、GXの担い手となり、持続可能な形で、人と社会に明かりと繋がりを提供する
- プラットフォーム**：さまざまなデータの掛け合わせによる新たなサービスを提供するための格納場所を構築する

目標

- 情報ネットワークと最新の技術を活用した「新しいコミュニティの形」の提供
- 2022～2025年度累計
新成長等戦略的投資額1,000億円程度



2024年1月から生産開始を目指す完全人工光型の自動化レタス工場



事業創造本部は、さまざまなコミュニティが抱える社会課題に対し、その解決に資する事業・サービスを提供し、これらを通じて新しい収益の柱を確立します。



専務執行役員 事業創造本部長

野田 英智

事業創造本部は、経営ビジョンで掲げる成長分野確立のため、2019年に発足しました。希薄化の進む現代のコミュニティにおける、さまざまな社会課題の解決に寄与する新たなソリューションの提供を目指しています。これまで地域医療向けの取り組みや、子育て世代向けの取り組み、弊社アセットを活用した新サービスを進めてまいりました。

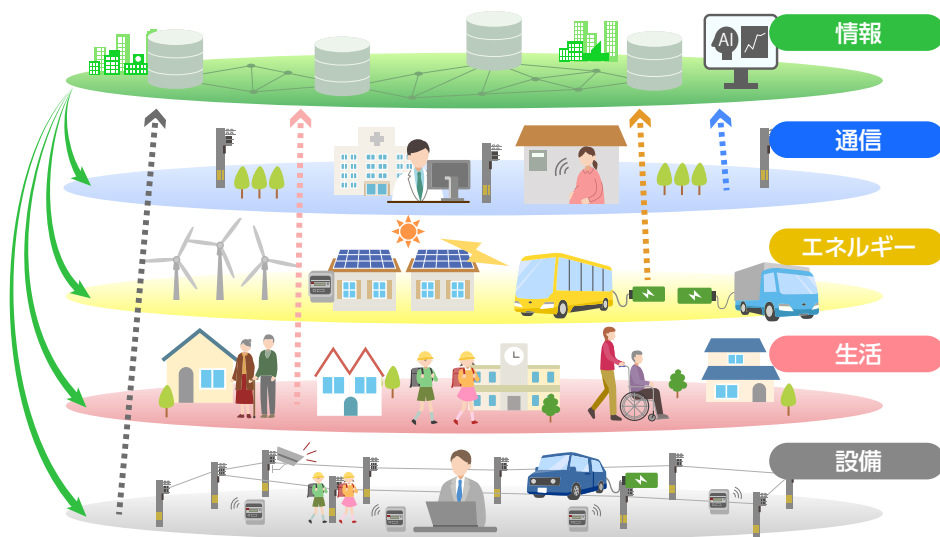
今後も私たちは、「地域の課題解決と活性化への貢献」を行うために、持続可能な社会の実現を目指して「脱炭素や資源循環」を推進し、地域の特性を最大限に活かして「まちづくり」にも参画することで、「お客さまの暮らしをより豊かにするサービスのお届け」を中部電力グループをあげて加速させてまいります。

目指す姿

地域社会とともに、そして一人ひとりに寄り添い「誰もが安全・安心に暮らし続けることができるコミュニティづくり」により、2030年までに、持続可能な地域社会を支えるコミュニティサポートインフラを実現する。



「新しいコミュニティの形」の創造



暮らし・産業・コミュニティなどのあらゆる課題を解決するサービスへ昇華し、「新しいコミュニティの形」を創造します

<p>ヘルスケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オンライン診療などのサービス開発 ● フレイル検知サービス <p>Link ↑ eフレイルナビ</p>	<p>EV普及支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● EVバスの最適運用実証 ● EVトラックの最適運用実証 	<p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域情報サービス ● きずなネット ● 子育て支援 <p>Link ↑ きずなネット</p>	<p>インフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電動車両に対する充電サービス事業 ● 自動検針 ● みまもりポール <p>Link ↑ みまもりポールサービス</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

共同提案により飯田市が「脱炭素先行地域^{*1}」に選定

当社は、環境省が募集した「第2回脱炭素先行地域」に、「既存配電システムを活用した地域マイクログリッドによる人をつなぎ地域をつなぐまちづくり」を飯田市と共同提案し、2022年11月に選定されました。

地域マイクログリッド^{*2}の構築による災害時のレジリエンス向上と、デマンドレスポンスの活用による地域の省エネ活動の推進を掲げております。飯田市とともに地域の脱炭素化を加速させる「新しいコミュニティの形」を実現してまいります。

^{*1} 環境省が選定する、2050年カーボンニュートラルに向けて、2030年度までに地域特性に応じて二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す地域。
^{*2} 地域マイクログリッドを構築すると、系統からの電力供給が途絶えても、早期の供給再開が可能。



中部電カグループの不動産開発

グループ会社の日本エスコンと中電不動産は共同で分譲マンション開発、商業開発などの不動産開発を進めています。

日本エスコンや中電不動産が有する不動産開発のノウハウと当社始めグループ会社が有する地域の皆さまとの深いつながりを相乗的に活かすことで、当社



千里藤白台プロジェクト(大阪府吹田市)～商業施設・マンション等を一体開発～

グループが目指す「新しいコミュニティの形」の実現につながる不動産事業を加速させ、地域の皆さまの安心・快適な暮らしを実現するまちづくりを進めていきます。